

エネルギーデバイスによる 最先端フェムテック治療

日時

2023年11月19日(日)14:40～15:40

会場

砂防会館（ライブ配信のハイブリッド開催）

東京都千代田区平河町2-7-4 [TEL:03-3261-8386](tel:03-3261-8386)

東京メトロ永田町駅（有楽町線 半蔵門線 南北線）4番出口 徒歩1分

座長



関口 由紀 先生

医療法人 LEADING GIRLS

女性医療クリニックLUNAグループ 理事長/

横浜市立大学大学院医学部泌尿器病態学講座 客員教授)

演者



GSM治療 反復性膀胱炎のレーザー治療
～泌尿器科医が感じたレーザー治療の必要性～

安倍 弘和 先生

日本橋骨盤底診療所 所長

演者



インティマレーザーで広げる腔医療

中村 綾子 先生

医療法人LEADING GIRLS

女性医療クリニックLUNAネクストステージ 院長)

本セミナーでご紹介の
最新治療情報サイト



◆ インティマレーザー治療 ◆ 高強度テスラ磁気刺激HITS治療 ◆ お問合せ・文献資料請求

座長 関口 由紀 先生
医療法人 LEADING GIRLS 女性医療クリニックLUNAグループ 理事長
横浜市立大学大学院医学部泌尿器病態学講座 客員教授

1 GSM治療 反復性膀胱炎のレーザー治療～泌尿器科医が感じたレーザー治療の必要性～

安倍 弘和 先生
日本橋骨盤底診療所 所長

【緒言】近年、レーザー治療が泌尿器・婦人科領域疾患に有用との臨床経験が多数報告されるようになり、本邦でも導入施設が増加している。特に女性領域では、GSM(Genitourinary Syndrome of Menopause:閉経関連尿路性器症候群)治療には欠かせない治療の一つと考えられる。GSMの排尿症状の中でも反復性膀胱炎の治療難渋するケースに対し、レーザー治療が有用であると考えるので治療経験を踏まえ私見を加え報告する。

【目的】反復性膀胱炎は閉経後尿道周囲腔粘膜が萎縮し、陰部のマイクロバイオームの変化が一因と考えられる。インティマレーザー®Er:YAGを用いたレーザー治療経験を報告する。

【対象・方法】当院で反復性膀胱炎と診断した症例に治療を行った症例を対象とした。GSMモードで月1回、3回コースを基本治療とした。治療後の膀胱炎の再発率や患者満足度などを集計した。

【結果】数例の施術時に疼痛のため、照射エネルギーを減弱する必要があった。大きな合併症はなく、レーザー治療後の患者満足度は良いと考えられた。反復性膀胱炎の患者は、レーザー治療後、感染を繰り返すことがなくなり満足度の高い治療方法と考えられた。

【考察】CO2レーザー治療を受け、治療後疼痛が強く、治療継続を断念された例も数例認め、腔粘膜の状態を把握しエネルギーレベルを調整する必要があると考えさせられた。

骨盤筋筋膜性疼痛(Myofascial pain syndrome)をGSMと判断されレーザー治療されている症例も散見され注意が必要である。

【結語】反復性膀胱炎の予防にはレーザー治療が期待できる。

【経歴】

1998年 大阪医科大学卒業(現:大阪医科薬科大学)
2000年 大阪医科大学泌尿器科助手
2003年 静岡済生会総合病院
2014年 亀田総合病院 泌尿器科 部長
2023年 日本橋骨盤底診療所 所長

1998年 大阪医科大学附属病院
2001年 大阪府済生会中津病院
2006年 静岡済生会病院泌尿器科 科長
2016年 亀田総合病院 泌尿器科 部長・内視鏡下手術センター長 現職

2 インティマレーザーで拡げる腔医療

中村 綾子 先生
医療法人LEADING GIRLS 女性医療クリニックLUNAネクストステージ 院長

前年のGSM研究会では当院で行っているGSM治療について紹介させて頂きました。当院でのGSM治療は保湿ケア、局所ホルモン療法、腔デバイス、骨盤底リハビリテーションなどを組み合わせて行っています。今回はGSM治療に用いている腔デバイス、Er:YAGレーザー装置TimeWaker® IntimaLaser™(治療名: IntimaLaser、Fotona d.o.o. SLOVENIA製)で治療したGSM患者の背景やVSQおよび腔健康指数で評価した治療成績について紹介します。

また、IntimaLaserを用いたフェムテックについても紹介します。フェムテックとは女性特有のフェムゾーンの悩みをテクノロジーで解決しようというもので、腔デバイスなどがフェムテックにあたります。腔デバイスは、泌尿器科・婦人科だけでなく専門分野以外のクリニックにも急速に普及してきています。IntimaLaserは、GSMだけでなく、腹圧性尿失禁、骨盤臓器脱、腔弛緩など女性骨盤底疾患に幅広く適応があります。特に腹圧性尿失禁の治療成績に関しては多くの報告があり、当院でも軽症から中等度の腹圧性尿失禁を対象に施行しておりPGI(Patient Global Impression)による患者治療満足度評価では約70%の方が治療効果を感じているという結果になりました。

骨盤臓器脱や腔弛緩に関しては、まだ検討していく余地がありますが、Intima Laserは当院の骨盤底疾患に対する治療では欠かせない存在となっており、今回は当院での骨盤底疾患での使用例や治療成績などについて紹介します。

【経歴】

日本泌尿器科学会専門医

2007年 横浜市立大学医学部卒業、日本赤十字社医療センター臨床研修医

2009年 横浜市立大学泌尿器病態学に入局、みなと赤十字病院、横浜市立大学附属病院、藤沢市民病院、横浜保土ヶ谷中央病院勤務

2014年 女性医療クリニックLUNAネクストステージ 泌尿器科外来を担当

2017年 女性医療クリニックLUNAネクストステージ 院長就任

2022年 最新モデルタイムウォーカー®インティマレーザー™を導入